

みぞのくち ジェントル・サウンズ 吹奏楽団

第13回 定期演奏会

2021年8月29日(日)
開場13:30 開演14:00

会場：すくらむ21 ホール



音楽のまち・かわさき

後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会

ごあいさつ

本日はお忙しい中、みぞのくちジェントル・サウンズ吹奏楽団 第13回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

当楽団は、2008年に川崎北高校26期卒業生で吹奏楽部OGの松村優美さんが中心となり、川崎北高校OB・OG吹奏楽団として創設されました。その後、2014年からはみぞのくちジェントル・サウンズ吹奏楽団と名称を変更し新たなスタートを切りました。主な活動は年1回の定期演奏会、地域イベントへの参加、各種施設や団体での訪問演奏等を行っておりましたが、昨今は新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの活動は行えず、1年遅れでの定期演奏会開催となりました。

今回の開催にあたっては、感染の終息が見えない今日において、どのように判断したら良いか考えさせられる事も多岐に渡りましたが、まだまだ続くと思われる感染症の終息を待つのではなく、現状を受入れた上で、出来る事を出来る範囲で、新しい発想も持ちながら、少しでも実現すべく活動していくことにいたしました。然しながら、安全に活動していく事は、第一に考えなければなりません。時には踏み止まる勇気も持ちながら、これからも活動を継続していきたいと思えます。

当楽団名は、松村優美さんの名をモチーフに名付けられております。

『優美→優しい音→ジェントル・サウンズ(gentle sounds)』

当楽団の演奏をお聴きになるお客様にとって、“優しい音＝ジェントル・サウンズ”とは何であるのか？それは様々な要素があるかと思いますが、私たちは『明るい音楽を、優しい音を、たくさんの人々に届けたい』という思いを持ちながら、先ずは、楽しく笑顔が絶えない楽団を取り戻していきたいと思えます。

今回のプログラムは、20世紀初頭に活躍したイギリスにまつわる作曲家たちの楽曲に取り組みました。私たちが演奏するサウンドを少しでもお楽しみいただけたら幸いです。最後となりますが、当楽団の活動に際して、日頃より多くの皆様よりご支援をいただいております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

みぞのくちジェントル・サウンズ吹奏楽団

団長 山下 祐司



Conductor's Program notes

産業革命により世界史上稀に見る超大国へと急成長した大英帝国では、首都ロンドンへの人口集中と、その反動で地方の急激な過疎化が進みました。「地方から人がいなくなる」ということは、そのまま「その土地で歌い継がれてきた音楽が失われること」を意味します。

私たちが今回取り上げる作曲家たちが各地の民謡を収集して楽曲へ積極的に取り入れたのは、「変わりゆく社会の中で、歌い継がれてきた音楽を守り、後世に残したい」という思いがあったからではないでしょうか。

そして彼らが自らの音楽に託したであろう「変化する社会の中で、変わらない音楽の喜びを伝えたい」という思いは、今の時代を生きる私たちアマチュア吹奏楽愛好家にも共通します。

新型コロナウイルスによる社会情勢の変化は、私たちの音楽活動にも深刻な影響を及ぼしました。演奏会の延期、練習時間の短縮のみに留まらず、かけがえのない仲間たちが団を離れざるを得なくなったり、演奏会に出演できなくなったりと、様々な困難を経験しました。

もちろん職業音楽家ではない私たちは、演奏活動が継続できなくなったとしても生活に大きな支障はありません。

しかし気心の知れた仲間たちと音楽を演奏することは、私たちの生活や精神をより豊かにするために必要な営みです。文化的な活動が制限された社会でこそ、変わらない音楽の喜びを表現し続けることはプロ/アマチュアの垣根を越えて普遍的な価値を持つのではないのでしょうか。

本日の演奏会では、急変する社会の中で、不変の音楽の素晴らしさを残そうとした作曲家たちの作品に私たちの思いを乗せて演奏いたします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

Cond. 猶原

－ プ ロ グ ラ ム －

♪ 第 I 部 ♪

〈シネ・ノミネ〉

作曲：ヴォーン・ウィリアムズ

編曲：アルフレッド・リード

タイトルの「シネ・ノミネ」とはラテン語『名前が無い』という意味で、賛美歌として書かれたといわれています。厳かで華やかなファンファーレから始まるこの曲はアメリカの学校の卒業式で良く使われるそうです。

吹奏楽の巨匠、リード編曲の美しいハーモニーで今回の演奏会の幕開けを飾ります。

〈デリー地方のアイランド民謡〉

作曲：パーシー・グレインジャー

どこかで聞いたあの曲……と思う方も多いのではないのでしょうか。「ロンドンデリーの歌」や「ダニー・ボーイ」の名でよく知られている作品です。

あまりにも有名な曲ですが、実はその発祥など詳しいことはわかっていません。それでも穏やかで美しいメロディーは時代を越えて愛されていくのですね。

〈リンデン・リー〉

作曲：ヴォーン・ウィリアムズ / 編曲：スタウト

1 曲目のシネ・ノミネ同様ヴォーン・ウィリアムズの作品で、彼らしいイギリスの田園風景を彷彿とさせる穏やかで優しい響きの曲です。

元々は歌曲で訳については諸説ありますが、望郷の念を形にした作品だという説もあります。みなさんにも故郷を懐かしんでいただけたら幸いです。

♪ 第 II 部 ♪

〈組曲「惑星」より 火星 木星〉

作曲：グスターヴ・ホルスト

作曲者のグスターヴ・ホルストは近代イギリスを代表する作曲家の1人で、吹奏楽の作品としては「吹奏楽のための第一組曲・第二組曲」があまりにも有名ですが、元々は管弦楽曲である組曲「惑星」より今日は 2 つの楽章をお送りします。

〈火星〉 7つの楽章からなる組曲の第一楽章です。「火星、戦いをもたらす者」という副題がつけられており、その名の通り繰り返される力強いリズムを感じながら、勇ましく発展していくさまをお楽しみください。

〈木星〉 『惑星』の中では一番有名なのではないでしょうか。第四楽章、「木星、快樂をもたらす者」です。ホルスト自身は官能的なものを表現しようとしたのではなく、それよりは祝祭的な喜びを表現したかったようです。

実は歌詞もあり、I Vow to Thee, My Country(祖国よ、我は汝に誓う)という曲名で、イギリス国民から広く愛される曲となっています。

♪ 第 III 部 ♪

〈A 列車で行こう〉

作曲：ビリー・ストレイホーン / 編曲：辻峰拓

スタンダード・ジャズの名曲です。タイトルの A 列車とは、ニューヨーク市を走る地下鉄のうち、快速運転を行う「A」系統のことです。

「ハーレムに行ってジャズを楽しむなら、早く着ける快速の A 列車に乗ろう」という、シンプルなメッセージの曲になっています。

〈アニメ・メドレー～久石譲作品集〉

作曲：久石譲 / 編曲：森田一浩

スタジオジブリ作品の劇中音楽から『天空の城ラピュタ』より「君をのせて」、『風と谷のナウシカ』より「鳥の人」、『紅の豚』より「帰らざる日々」、『となりのトトロ』より「風の通り道」のメドレーです。

誰もが親しめる久石譲の世界をお聴きください。

〈お酒ソング・コレクション～酔奏楽の為の～〉

編曲：辻峰拓

古今東西、お酒にまつわる曲を集めたメドレーです。曲は缶ビールのCM で使われている「ゲバゲバ90分」、オペラ『椿姫』より「乾杯の歌」、細川たかしのヒット曲「北酒場」、坂本冬美によるカバーも有名なビリー・バンバン「また君に恋してる」、石川さゆり「ウイスキーが、お好きでしょ」、ラテン・ナンバーでおなじみ「テキーラ」です。

曲が進むにつれアルコール度数が上がっていくという遊び心も隠されています。